

“P a y どん”に関する基本合意書の締結について

鹿児島銀行（頭取 松山 澄寛）が現在展開している“P a y どん”を活用したキャッシュレス事業（以下、本事業という）に、南日本銀行（頭取 斎藤 眞一）ならびに鹿児島相互信用金庫（理事長 永倉 悦雄）が参加することに関して、基本合意書を三行庫で締結しましたのでお知らせします。

記

1. 経緯

鹿児島銀行が独自開発したキャッシュレス決済アプリ“P a y どん”は、地域事業者の支援および県内キャッシュレスの普及などを目的として2019年5月に事業を開始しました。

また、2020年5月に個人間送金機能、2020年7月にポイント機能をリリースし、2020年12月以降、自治体などが実施する地域振興券事業に活用するなど、お客さまの利便性を高めるとともに、地域経済活性化に取り組んできました。

ポストコロナに向け、地域経済活性化への取り組みを一層拡大すべく、地域金融機関が協力していく必要があることから、鹿児島銀行、南日本銀行ならびに鹿児島相互信用金庫で協議を重ねた結果、今回の基本合意書の締結に至ったものです。

2. 目的

鹿児島銀行が取り組んできた本事業の趣旨に、南日本銀行ならびに鹿児島相互信用金庫が賛同し、三行庫が協力していくことにより、キャッシュレスの一段の普及とともに地域内における資金循環を促進し、地域の更なる経済活性化に取り組むことを目的とします。

3. 基本合意日

2023年3月17日

4. 今後の取り組み

- ・本合意に基づく運用開始は2023年10月を目指します。
- ・具体的には、P a y どんアプリでの決済、加盟店さまの売上代金入金について、鹿児島銀行の口座に加え、南日本銀行または鹿児島相互信用金庫の口座が選択可能（一行庫のみ選択）となります。
 - ※P a y どんアプリの基本機能（決済、個人間送金、ポイント付与、地域振興券）については、いずれの金融機関を選択しても利用可能です。
- ・各行庫にて、P a y どんユーザーさまおよび加盟店さまのサポート、拡大を実施するとともに、自治体などが実施する事業への活用を促進します。

5. 対応するSDGs



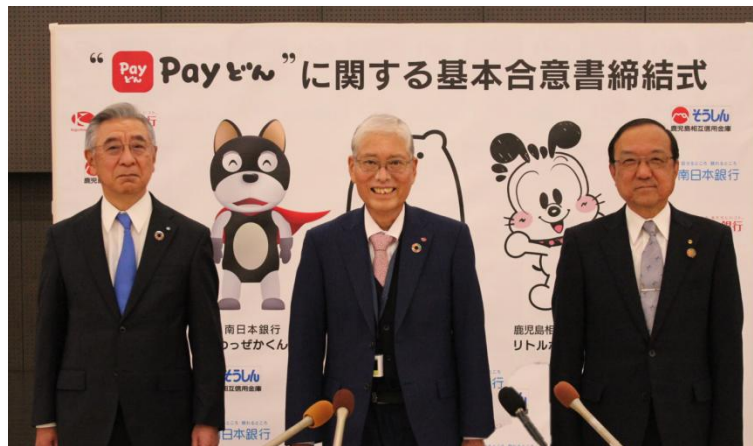
目標 8. 全ての人々の金融サービスへのアクセスを促進・拡大する
キャッシュレス決済による地域経済活性化の促進

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

鹿児島銀行 経営企画部
TEL：099-239-9725（ダイヤルイン）
南日本銀行 総合企画部
TEL：099-226-1117（ダイヤルイン）
鹿児島相互信用金庫 経営企画部
TEL：099-259-5222（代表）

<合意書締結式の様子>



<今後のPayどんアプリイメージ>

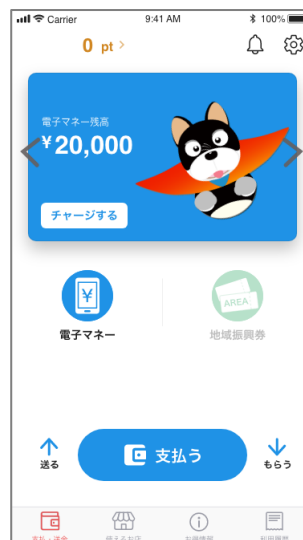
【アプリ起動時】



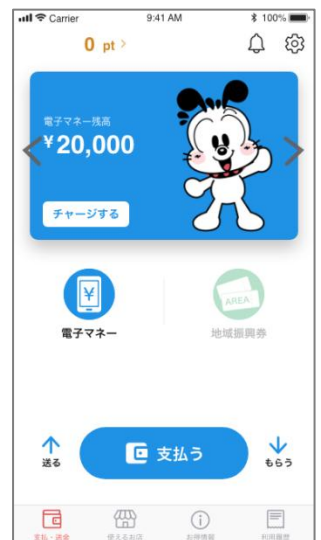
【鹿児島銀行画面】



【南日本銀行画面】



【鹿児島相互信用金庫画面】



※本イメージは現時点での想定であり、今後変更となる可能性があります。